



修二だより

令和7年度
後期学校評価号

令和8年2月
京都市立修学院第二小学校
校長 中村 理恵

後期 学校評価アンケートの集計結果をお知らせします

「後期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。学校評価は、学校・家庭が相互に高め合うことを目的とし、よりよい学校づくりのために行っています。「児童アンケート」と「保護者アンケート」の結果をまとめて報告いたします。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標

『自ら考え行動し、仲間とともに伸びる



たくましい 修二の子ども』

- 自主自律
- 友情をはぐくみ
- 美しい心で
- 虹をかけよう



◆児童アンケート◆		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
【学習に関すること】					
1	じゅぎょうの ないようが わかる。	58%	37%	3%	2%
2	かていがくしゅうを すすんで やっている。	41%	40%	15%	4%
【言語力・質問力】					
3	じぶんの かんがえをもち、あいてに つたえようと している。	38%	46%	12%	4%
4	せんせいや ともだちの はなしを よくきき、おうとうしたり、しつもんしたり している。	44%	43%	12%	1%
5	すすんで どくしょ している。	40%	25%	24%	11%
【情報活用力】					
6	じょうほうを あつめて くらべたり、かんれんづけたりして、かんがえている。	28%	45%	23%	4%
7	じょうほうを あつめるために としよや パソコンなどを かつようしている。	57%	29%	10%	4%
【相手意識】					
8	あいての はなしを うなずくなどして きいている。	52%	33%	10%	5%
9	あいての きもちや かんがえを そうぞうしながら、はなしている。	43%	44%	10%	3%
10	ともだちと なかよくすごそうと ころろがけている。	79%	18%	2%	1%
【自己指導力】					
11	じぶんの めあてを きめて、つづけて とりくんでいる。	36%	45%	15%	4%
12	じぶんの きもちを コントロールしながら すごしている。	50%	36%	12%	2%
【その他健康や安全、家での生活に関すること】					
13	クラスの しごとを じぶんから すすんで している。	34%	40%	18%	8%
14	きまりや やくそくを まもっている。	49%	41%	9%	1%
15	はやね・はやおきをして、すいみんを しっかり とってい	39%	31%	18%	12%
16	まいにち あさごはんを たべている。	88%	8%	3%	1%
17	そとあそびなどをして、からだを よくうごかしている。	62%	21%	12%	5%
18	じぶんや まわりのひとの あんぜんを かんがえて、こうどうしている。	49%	45%	4%	2%
19	こうつうルールを まもって どうげこうしている。	68%	27%	4%	1%
20	いえのひとと がっこうの できごとを はなしている。	51%	27%	12%	10%
21	こまったときは せんせいや いえのひとに そうだんをしている。	43%	37%	12%	8%

◆保護者アンケート◆					
		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
	【学習に関すること】				
1	授業の内容が分かる。	38%	53%	8%	1%
2	家庭学習を進んでやっている。	28%	45%	22%	5%
	【言語力・質問力】				
3	自分の考えをもち、相手に伝えようとしている。	32%	55%	12%	1%
4	先生や友だちの話をよく聞き、応答したり、質問したりしている。	26%	58%	15%	1%
5	進んで読書している。	21%	28%	35%	16%
	【情報活用力】				
6	情報を集めて比べたり、関連付けたりして、考えている。	20%	48%	28%	4%
7	情報を集めるために、図書やパソコンなどを活用している。	20%	43%	30%	7%
	【相手意識】				
8	相手の話を、うなづくなどして共感的に聞いている。	26%	54%	18%	2%
9	相手の気持ちや考えを想像しながら、話している。	26%	55%	17%	2%
10	友だちと仲良く過ごそうと心がけている。	52%	43%	5%	0%
	【自己指導力】				
11	自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。	21%	56%	22%	1%
12	自分の気持ちをコントロールしながら過ごしている。	29%	61%	9%	1%
	【その他健康や安全、家での生活に関すること】				
13	クラスの仕事を、自分から進んでしている。	31%	52%	16%	1%
14	決まりや約束を守っている。	39%	54%	6%	1%
15	早寝早起きをして睡眠をしっかりとっている。	31%	40%	24%	5%
16	毎日朝ごはんを食べている。	88%	10%	2%	0%
17	外遊びなどをして、体をよく動かしている。	45%	28%	24%	3%
18	自分やまわりの人の安全を考えて、行動している。	46%	48%	5%	1%
19	交通ルールを守って、登下校している。	54%	44%	2%	0%
20	子どもと学校でのできごとを話している。	41%	52%	6%	1%
21	子どもが困っているときは、一緒に話し合っている。	48%	49%	3%	0%
22	修二だより・学年（学級）だより・ホームページなどから学校の様子がよくわかる。	25%	63%	9%	3%
23	学校が、いじめや防止やいじめ問題の解決に積極的に取り組んでいる。	19%	69%	10%	2%
24	学校が人権を大切にした教育活動に取り組んでいる。	28%	67%	4%	1%

アンケートについての考察

児童のアンケートより

- ・「情報を集めて比べたり、関連付けたりして、考えている。」「情報を集めるために図書やパソコンなどを活用している。」の【情報活用力】の2項目では、肯定的な回答がそれぞれ73%、86%となり、前期アンケートよりも上昇しました（保護者アンケートでも、それぞれ7ポイント、8ポイント上昇）。前期アンケートで低かった2項目であり、学習に必要な情報を、図書やICTを活用して集めたり、それらをまとめたりすることに難しさを感じている児童が多いのではないかとという前期の課題から、さまざまな学習場面で積極的に図書やICTを活用し、集めた情報を比較したり思考したりする学習を意識的に増やし、その良さや有用性を感じられるようにしてきた成果でもあるのではないかと考えます。
- ・「外遊びなどをして、体をよく動かしている。」の項目では、肯定的な回答が、前期よりも8ポイント上昇しました。寒い中、休み時間には、外でボール遊びやおにごっこ、遊具遊びなどをしてよく体を動かしている様子が見られます。体育の学習やクラス遊びで体を動かすことの楽しさを感じているようです。
- ・「進んで読書をしている。」の項目では、肯定的な回答が、前期よりも8ポイント下がりました。読書内容を記録する「読書ノート」の活用をすすめているところではありますが、特に高学年での課題が大きい結果となりました。しかし、本校PTAサークル「トムソーヤ」の活動や、図書委員会による読書週間でのイベント、教職員の好きな本紹介など、少しでも本に興味をもてるよう、さまざまな立場からの児童に向けた取組をしています。さらにもう一步、子どもたちが「本を読みたい」と思えるような働きかけが必要であると考えます。国語科での関連図書の紹介や、朝読書を確実に実施することなど、教職員で確認・見直しを行い、一層読書活動の推進に努めていきたいと考えています。

保護者のアンケートより

- ・【自己指導力】の「自分のめあてを決めて、続けて取り組んでいる。」「自分の気持ちをコントロールしながら過ごしている。」の2項目では、肯定的な回答が、前期よりもそれぞれ4ポイント、3ポイントと上昇しました。子どもたちにとって、決めたことを継続することや、冷静に、落ち着いて自分を律することは簡単なことではありませんが、この1年間で、忍耐強く物事を継続している姿や、トラブルになっても自己分析と共に自分の思いを表現しようとする姿も増えてきたように思います。しかし、一方で、自分の言動が周囲に及ぼす影響の大きさを再考する事案もあります。改めて、この【自己指導力】を、大人も子どもも意識して子どもたちをよりよい方向へ導いていきたいと思えます。
- ・「自分の考えをもち、相手に伝えようとしている。」の項目では、肯定的な回答が2ポイント下がりました。相手意識をもち、相手と言葉のやり取りを楽しむ子どもたちは増えているように感じますが、伝えるための言語力や質問力の向上など「ことばの力」の育成を意識した取組に、一層力を入れていく必要があると考えます。自分の思いや考えをもち、交流する活動を様々な場面で意識的に取り入れ、低学年のうちから考えを発表したり、聞いたり、それに対して質問をしたりする力をつけていきたいと思えます。

地域の方より(学校運営協議会でご意見を伺いました。)

- ・児童の「毎日朝ご飯を食べている」の項目で、「そう思わない」が1%いる。この1%の子どもを大事にしたい。
- ・児童の「困ったときは先生や家の人に相談をしている」の項目では、否定的な回答が20%いることから、子どもの思いを十分に理解できているとは言えないのではないかと。学校・家庭・地域が一層連携し、子どもを中心にした取組を各々の立場から行い、学校・家庭・地域が困ったときに互いに相談できる関係性を築いていきたい。
- ・地域の諸団体は、学校や家庭ではなかなか経験できないことを体験してほしいという思いをもって、さまざまな催しを企画・運営している。これからも、修二校の子どもたちのためにできる限りのことをしていきたい。

今回のアンケートの結果から、「情報を集めて比べたり、関連付けたりして、考えている。」「情報を集めるために図書やパソコンなどを活用している。」など、満足度が高い項目もあれば、「進んで読書をしている。」など、課題が残る項目もありました。アンケート結果を真摯に受け止め、学校として組織的な授業や取組の改善につなげたいと思えます。

今回いただいたご意見は、全教職員で共有し、継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは速やかに改善するなどして、よりよい修学院第二教育を進めていきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。